

令和4年度第1回諫早市認知症対策推進会議要旨

1. 日時：令和4年5月24日（火） 19：00～20：00
2. 場所：諫早市役所 本館5階 大会議室
3. 協議内容

（1）認知症初期集中支援チーム実績報告

- ・家族や地域住民からの相談が以前に比べ増えている。相談先として広まってきているのは、継続してきた成果だと感じる。

（2）認知症多職種協働研修アンケート報告について

- ・専門職向けに基礎編を実施することに悩んだが、思い切ってやってみてよかったと思う。
- ・認知症が生活障害ということを、分かっていない専門職が多いことを知った。事業所単位の研修で使えるようになればいいと思う。
- ・事前に事業所から質問を取って答えるようにしてはどうか。
- ・動画の視聴については期限を決めず、いつでも見られる状態にできないか。視聴者が聴く、見るだけでなく、参加型とし質問する、答える形にしてはどうか。
- ・今回1000人近い方が見れてよかった。普段仕事で参加できないことが多いため、今後もオンデマンドでやって欲しい。

（3）本人視点を盛り込んだ簡易版認知症ケアパス（通称「いさはやオレンジガイド」）について

- ・とても見やすくなっていて、色合いも優しくなり皆さんが手に取りやすくなったと思う。
- ・情報が整理されており、連絡しやすい。

〈設置箇所と効果的な配布方法について〉

- ・薬局は取りやすく、効果があるのではないかと思います。
- ・人が見ていると取りにくいかもしれないので、ATMなど見えにくい所が良いのではないか。
- ・タクシーのシートは周りから見られず、取りやすいのではないか。
- ・コンビニのレジ袋とセットにして渡すと良いのではないか。
- ・警察署に設置し、自動車免許証の返納時に配布してはどうか。
- ・入院病床のある病院では、入院時の説明をする時に案内するとご家族にも伝わる。
- ・診療所では、初期認知症の方が来ることもあるので、少し部数をいただければと思う。
- ・自治会の回覧板などでも見るのではないか。
- ・民生委員は高齢者をよく把握していると思うので、ガイドを持たせているといいのではないか。
- ・きれいな目に付く入れ物を使うなど、置き方にも工夫があると良いのでは。

〈効果的な周知方法について〉

- ・マスコミを活用してはどうか。
- ・配布する際にガイドの目的を説明し、相談窓口を案内できるとより目的が達成されるのでは。
- ・QRコードがガイドの中にあるが、表のすぐアクセスできる場所にあった方が良い。
- ・設置場所の記載があれば、そこを見るのではないか。

裏面もご覧ください。

（４）認知症の普及啓発について

- ・4コマ漫画は素材も残っている。ラジオドラマにもなっているので、他にも活用できればと思う。
- ・下に解説があるのもいい。学校などに配布すると子供たちもとてもわかりやすいと思う。
- ・漫画を継続して広報に掲載するのは難しいか。
- ・関わる家族が認知症をよく知ることが、家族が後悔しないためにも大切だと思う。